

第98号

2020

2.20

みやづ

市議会だより

卓球バレー大会

令和元年12月定例会

12月補正予算

一般質問

11人の議員が市政を問う

p.2~3

p.6~9

市民と議会の懇談会報告

p.10~11

行政視察

常任委員会の視察報告

p.12~13

〈特集〉議員が
おじゃましました!

ジビエは山々の力から

p.14~15

P16
参照

討論

議第47号
一般会計補正予算

賛成

日本共産党 長林 三代
マイナンバー制度は、国民の所得を把握し納税強化につながるもの。制度には反対だが、カード化は申請主義であり、義務はないため賛成する。個人情報情報が流出する危険性もあり、十分な管理をお願いしたい。

予算決算委員会

一般会計

委員問討議

オリーブの生産拡大支援事業
○当該補助を受ける団体や苗木の価格が適正かどうかを含めて調査し、慎重に事業を執行するべきとの意見を付してはどうか。
○議会としても一定の調査ができることや、補助対象団体が適正かどうかは顧問弁護士から問題なしと判断されているので意見を付すことはなじまない。

条例関係

4月から新ごみ処理場稼働
ごみ袋が一部変わります

総務文教委員会

廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正

Q 新処理施設（宮津与謝クリーンセンター）稼働後、50センチ以上の衣類は燃やさないごみ、50センチ未満は燃やすごみとして分別することだが、50センチ以上の衣類が燃やすごみ袋に入っていたら収集しないのか。住民は分かりづらいのでは？

A 衣類に限らず長い物は、施設での破碎処理の際、機械に巻きつく恐れがあるため、目安を50センチとして分別をお願いするもの。誤って燃やすごみ袋に入っても回収する。住民への周知は、定着するまで繰り返し行っていく。

委員問討議

○一般廃棄物の分別方法が変更となる点は、住民

12月定例会のうごき

令和元年12月定例会を12月2日から12月25日までの24日間開催しました。今定例会では、令和元年度補正予算、条例改正など7議案と追加提案の10議案を審査し、いずれの

議案も原案のとおり可決しました。
また、議員提案の「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を全員賛成で可決し、政府に提出しました。
一般質問は、12月9日、10日に11人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は34人（9月定例会は43人）でした。

令和元年度 補正予算審査 Q & A

総務文教分科会

財政調整基金繰入金の減額

▲4000万円

Q 減額の主な要因は？

A 過年度分の災害復旧費に係る補助金が歳入として見込めたもの。今後の人事院勧告による人件費補正や除雪経費の備えなども考慮した。

借入金返済の減額

▲123万円

Q 元金も減額となる要因は？

A 平成29年度に小災害復旧事業債を借り入

れたが、事業の一部を繰り越し、平成30年度に正式に借り入れたことで、元金償還の据置期間が1年ずれたため、元金償還が不用となったもの。

公共交通空白地有償運送支援事業に

46万円

Q 養老・日ヶ谷地域、由良地域、栗田地域での枝線廃止に伴う代替手段の検討状況は？

A 養老・日ヶ谷地域は、令和2年4月実施で合意。由良地域は、検討委員会が住民アンケートを実施中。集計結果を受け、令和2年10月実施を見据え、手



路線バス

産業建設福祉分科会

オリーブの生産拡大支援事業に

718万円

Q 現在までの総事業費は？また、その内訳や財源は？

A 総事業費は889万円で、内訳は生産者支援に1220万円、オリーブオイル宮津（O O M）の運営に4750万円、その他搾油機の購入などに2928万円である。また、財源は国庫支出金4790万円、府支出金213万円、基金2600万円、一般財源1295万円である。

Q 苗木の値段の妥当性は？

A イタリア政府公認苗木（3年生・税込）の1本当りの価格調査を国内の3社に対して行った。現地での引き渡し価格という観点から

考えれば、適正な範囲内であると考えられる。

Q 今後のオリーブ事業の振興体制は？

A 10月に宮津オリーブ生産者の会が発足。今後は、栽培の振興、ブランド化などの取り組みを会員の中で連携して行われる。なお、春に設立された株式会社オリーブオイルは、O O Mに代わって苗木の仕入れや生産者の要請に応じ指導なども行われる。

委員問討議

○苗木の値段は、イタリア国内での流通価格が本当に適正であるのかも含め、再度妥当性をしっかりと確認されたい。

への丁寧な説明が必要である。

産業建設福祉委員会

下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備

Q 地方公営企業法の規定を適用した場合の経営戦略（財政シミュレーション）の見直し時期は？

A 令和2年度から公営企業会計を適用するが、その決算を見てから見直したい。

委員問討議

○地方公営企業法を適用することで、経営実態が明確になり、経営基盤の強化につながる。
○独立採算制に移行し、一般会計からの基準外繰出金が廃止されると、下水道料金の引き上げにつながるのではないか。

討論

議第50号
財産の取得

賛成

日本共産党 長林 三代

有害鳥獣処理施設の整備に係り、地元と下流域への丁寧な説明をしていくとのことであったが、あまりにも遅い。早急に説明をし、市民の不安解消と施設設置による農業被害の軽減を条件に事業を進めてほしい。

反対

日本共産党 長林 三代

下水道事業会計は、一般会計から多額の繰り入れを行っており、公営企業会計を適用しても赤字が予測される。独立採算制の原則から使用料金の値上げにより、市民に負担を課すことになりかねない。住民目線の事業施策を望む。

議第46号

下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備



ルピノ京都堀川にて

京都府下市町村議会の各委員会委員長をつとめる議員約120人が参加。宮津市からは3人の委員長が3時間半にわたって講義を受けました。議会の審議能力を高める要素の一つに十分な審議時間が確保できる「通年制議会」の導入が上げられ、府内では亀岡市や精華町が導入しています。

市町村議会委員長研修会

■日時 令和元年11月18日(月)

■場所 ルピノ京都堀川

■講演①「議会力・議員力の発揮へ、地方議会改革を实践する」

〔講師〕長野県飯綱町議会 前議長 寺島 渉氏

■講演②「議会の審議能力・委員会の審査能力の向上」

〔講師〕三重県地方自治研究センター 上席研究員 高沖 秀宣氏

決算審査には、事業事業評価を行い翌年度の予算に反映する『決算から予算につなぐ』考え方が適正な行政運営になりますが、地方自治体の多くが事務事業評価を実施出来ていない状況です。また、議会における質疑の改善点や着眼点を学びました。今後の審議に生かしていきたいです。

宮津市の議員13人が研修会に参加しました。

議員研修会（舞鶴市）

■日時 令和2年1月15日(水)

■場所 舞鶴市政記念館

■講演「効果的な予算・決算審議を考える」

〔講師〕(株)地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬 和彦氏

地域経済の分析や地域資源を有効活用した施策の展開など地域活性化策などについて講演を聞きました。地域に不足する資源の確保が必要だと感じました。

研修会には、北部5市2町の議員などが集まり、宮津市から議員10名が参加しました。

議員研修会（綾部市）

■日時 令和元年11月21日(木)

■場所 京都府北部産業創造センター

■講演「これからの地域活性化の視点」

〔講師〕(財)自治体国際化協会 理事長 岡本 保氏

子どもたちの感想

○議会では、どうしたらよい町になるかを考えて、税金をどのように使うかを議論されているのだと知りました。

○私たちも「吉津の未来を考える会」を開いて、地域の方々と一緒に町の未来を考える機会があるので、もっとよい町にするために、しっかり学習していきたい。

○もっと宮津市で行われていることを詳しく調べたい。



11月26日(火)、吉津小学校6年生(15人)が、社会科「わたしたちの生活と政治」の勉強に來られました。

「市の収入は、どれくらいあるのか」、「一年間でどれくらい税金を使うのか」、「意見を決めるときには、どのようなことを判断基準にしているのか」などの子どもたちからの質問に、北仲議長が答え、その後、議場や議長室を見学されました。

議会見学

全員賛成で可決した議案

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
43	字の区域及び名称の変更	可決	52	一般職職員の給与に関する条例の一部改正	可決
44	廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正	//	53	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	//
45	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	//	54	印鑑条例の一部改正	//
47	R1一般会計補正予算（第3号）	//	55	R1一般会計補正予算（第4号）	//
48	R1国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//	56	R1国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
49	R1下水道事業特別会計補正予算（第2号）	//	57	R1介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
50	財産の取得	//	58	R1下水道事業特別会計補正予算（第3号）	//
51	市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正	//	59	R1水道事業会計補正予算（第2号）	//
			市議3	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	//

※ 市議第3号は議員が提案した議案です。

賛否の分かれた議案

	会 派 名		蒼 風 会				市民新生 クラブ			公明党		共産党 議員団		無所属 クラブ	
議 案 番 号	案件・結果 <														

※ 議長(北仲)は、可否同数の場合のみ可否を裁決します。

可決

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

【発議者】議会運営委員長 徳本 良孝

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

議会活性化特別委員会の設置

委員長
副委員長

星野和彦
横川秀哉
長林三代
徳本良孝
松浦登美義

11人の議員が一般質問

題字／尾崎邑鵬 書

市政も問

◆答弁者は、下記のとおり略称を使用しています。
企画部長…企画財政部長
福祉部長…健康福祉部長
産業部長…産業経済部長

質問 社会を明るくする運動は、犯罪や非行をした人が社会に戻った後、再び罪を犯さないように指導・支援する取り組み「再犯防止対策」のことで、市民の安全・安心な暮らしにつながるもの。全国の犯罪件数の推移は減少しているが、再犯率が高くなっている。近年の少年犯罪の背景は、暴力暴走などの反社会的な行為というより、家庭での児童虐待を受け、経験が犯罪や自傷行為・自殺願望へとつながっている傾向が統計データからもみられる。

更生保護支援の強化（地方再犯防止推進計画策定）と児童虐待防止対策（家庭教育支援条例の制定など）のステップアップをお願いしたい。

福祉部長 家庭教育支援条例の制定は考えていないが、専門的な相談や調査・訪問などを行う子ども家庭総合支援拠点の設置、新たに貧困対策の取り組みや児童生徒と乳幼児とのふれあい機会の創出など、子育て支援の充実を検討している。

市民部長 地方再犯防止推進計画の策定は努力義務が課せられており検討を行っている。都道府県などを中心に策定が進んでいると聞いており事例の研究をさせていただきたい。



蒼風会
坂根 栄六

一問一答

より社会を明るくするための
ステップアップを



市民新生クラブ
徳本 良孝

一 括

財政健全化に係る各種計画の
検証結果は

質問 平成18年には60億円の財源不足解消に向けた『宮津市行政改革大綱2006』に始まり、さらなる財源不足解消策として『宮津市財政健全化計画2011』『宮津市行財政運営指針』。そして今回の『財政健全化の取り組み』とこれまで繰り返し財政健全化に向けて取り組みができたが一向に改善されないのはなぜか。計画の検証結果と成果などを尋ねる。

副市長 財政健全化の取り組みは、各計画における財政指標などの目標値の設定とその達成率を尋ねる。

の取り組みを経てもなお厳しい財政状況から脱却できないことから、これまでの取り組みに対する検証と評価を行った上で財政健全化につなげていくべきという趣旨のお尋ねである。各計画期間内で見込まれる財源不足解消は達成してきたが、市税などの減収が続く中、歳出面では災害による不測の財政出動に加え、人件費や繰出金の増加、生活関連基盤整備や公共施設の老朽化対応など、構造的な改善がされていないことが、今なお厳しい財政状況の要因である。また、財政指標などは、見込値算出上変動要素もあり、計画上の目標値は設定していない。

一 括

地方創生の攻めの戦略と
守る戦略の取り組みは



公明党
松本 隆

質問 宮津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略が総仕上げに向かう中、「攻めの戦略」では、観光革命の推進や産業分野への経済波及効果で、外貨を稼ぐという「稼ぐ力」がどれだけ高まったのか。また「守る戦略」では、定住促進戦略をどこまで推進でき、市長がいう「夢と希望があふれ住み続けられるまちづくり」につながることができたのか。

市長 この5年間で「稼ぐ力」を生み出すための取り組みをしっかりと進めてきた。メイドイン宮津

の土産物づくりでは、宮津遺産の創設による地元産品のブランド化や特産品開発、さらには、ナマコやオリーブなどによる水産物や農産物のブランド化。また、宮津まごころ市に併設して「おさかなキッチンみやづ」など浜町の賑わいづくりを創設した。引き続き観光を基軸とした産業振興を図り、地域経済力の向上を図っていく。「守る戦略」では、起業支援や空家バンクの創設、移住希望者と地域を結ぶワンストップ窓口など設置した。「夢と希望があふれ住み続けられるまちづくり」に向け定住促進戦略をしっかりと推進していく。



日本共産党
小濃 孝之

一問一答

水道は市民生活に必要不可欠。
事業の広域化・民営化は慎重に

質問 広域化は、住民から遠い存在になり、住民の声を反映しにくくなる。検討は慎重にすべきでは。

建設部長 広域化は、安全でおいしい水をいつまでも確保することが大事との視点で、今後、宮津市のスタンスでしっかりと考えるたい。

質問 水道管路施設の更新・耐震化工事などは、現行どおり、地元業者を基本に発注していくのか。

建設部長 現行どおり発注していく予定。

質問 宮津市水道事業ビジョンの内容からいえば、民営化は考えていないという

理解でよいのか。

建設部長 現在、コンセッション方式など水道事業の民営化を導入する状況にはない。

質問 今後とも、民営化はしないとの方針を堅持されたい。宮津市には宮津市のスタンスがあり、宮津市水道事業ビジョンをしっかりと進めていくという理解でよいのか。

建設部長 水道事業の運営は、宮津市水道事業ビジョンの基本理念「安全でおいしい水をいつまでも」の実現に向け、厚生労働省の新しい水道ビジョンなどの整合を図りつつ「安全」「強靱」「持続」の3つの基本方針で、さまざまな方策をしっかりと進めていきたい。

一 括

公共施設等マネジメントの
進め方を問う



無所属クラブ
久保 浩

質問 公共施設マネジメントを進める上で、資産売却や有償貸付などで財政的なメリットを出すことが重要だ。遊休市有地の売却は、5年間で7千万円とあるが、

質問 2市2町連携の事業であり、65歳以上が対象であるが、65歳未満の障害者にも適用できないか。民間事業者の運賃割引制度は5割引のものもあるが、本事業の2000円限度とは大きな差である。

企画部長 障害のある方に対する運賃割引

今後の予定は。

企画部長 今年度は旧公設市場跡地と旧福祉センター跡地に係る売却収入を予算計上。その他、従来から売却を進めている物件や、今後、再編方針を定める中で売却と判断するものもあり、それらとあわせて収入見込みである。

引制度の拡充などの取り組みは、恒久的な制度として鉄道事業者が主体的に進めていくべきもの。

福祉部長 本制度の拡充は、利用状況や障害のある方などのお声をお聞きするなどニーズを改めて把握したい。

片道上限2000円レール事業拡充

一問一答

過去一般質問の進捗状況と「にっこりあ」の計画を問う



蒼風会
向山 禎彦

質問 職員の残業削減の進捗状況は。

総務部長 4～9月の前年同期比で4割削減。予算執行率は55%と概ね順調。

質問 旧公設市場の公募型プロポーザル方式に「将来に有効」の視点の明確方法は。

企画部長 地域活性化を審査項目に最大配分し、業者選定後に公表する。

質問 6月議会で質問の丹鉄「通院付添人無料」制度は「障害のある人のみならず高齢者なども利用できるもの。窓口などで周知していく。」と答弁されたが、6か月間の周知活動は。

福祉部長 障害者手帳を交付する際に制度を説明した。障害者福祉のてびきとホームページにも掲載。障害者の三つの団体や事業所に周知した。

質問 すべての来庁者にお知らせするなどもっと広く周知をされないのか。

福祉部長 市役所の窓口対応の基本は来庁された方がその目的を達成されるように応えることが重要と考える。

質問 にっこりあ遊具の交換・修理・買い替えの費用などの準備は。

福祉部長 今年度から長く安全に使うために備品メーカーと契約し保守点検や部品の交換を行っている。今後、更新時期などの提案もお願いしている。

一問一答

市職員の倫理条例・規則の制定を



市民新生クラブ
河原 末彦

には職員の倫理条例と規則があるが、本市にはない。職員を守るためにも条例・規則の制定が必要と考えるがいかがか。

総務部長 年2回綱紀保持の通知を出し金銭・物品などの受領の禁止を職員に周知徹底しているが内部向けである。条例または規則の制定に向け準備していく。

天橋立ツーデーウォークの継続を

質問 健康づくり運動のシンボルイベントとして意義付けてきたツーデーウォークの継続を。

質問 「なみちゃん」を使って宮津を盛り上げよう」とPRしているが、認知度は低い。今後の利活用

をどうするのか。
企画部長 PRの強化に努めていく。



なみちゃん

一問一答

今後のまちづくりは



公明党
松浦 登美義

質問 本市は長年、財政再建と言い続けてきて、市民の方も少し疲れてきているのではないかと。言い方を変えると財政再建したら魅力的なまちがやってくるのか。私は、違うと思う。破壊はできないが、今ある宮津の、ありのままの地域で魅力がある。希望の持てるメッセージを発信して進めてほしい。市長の描く宮津市像を問う。

市長 若者が、夢を持って働き、子供たちが将来に希望を持ち、誰もが安全安心に、夢と希望がふれ、住み続けられるまち。皆さんと力を

合わせ、明るく豊かな宮津を築く。
質問 健康寿命を延ばす取り組みの推進に、ボランティアのポイント還元システムの構築を。

福祉部長 スタンプ方式など研究していく。

質問 来年度予算の考え方を問う。

市長 中期経営基盤の安定に向け編成。みやびビジョンの総仕上げ年度であるとともに、令和3年度からの総合計画を策定し、新たなまちづくりのスタート年度でもあり、極めて重要な1年。徹底した選択と集中で厳選して予算配分を行う。また、既存事業の整理を行い、新たに、市長重点枠を設け、総合計画の土台となる施策を展開していく。

一問一答

災害復旧は改良復旧で分担金ゼロに



日本共産党
長林 三代

質問 国の政策が農地山林の荒廃を進め、保水能力を低下させた。さらに高齢化や後継者不足で荒廃が加速したのでは。

産業部長 従事者数の減少が主な要因だ。

質問 風水害の激甚化により、復旧した所がまた被災している。災害復旧は原形復旧でなく改良復旧にすべきでは。

産業部長 原形復旧が技術的に著しく困難な場合などを除き、現行の制度では改良は認められない。

質問 国に要望すべきでは。

産業部長 土地改良事業団体連合会など

一問一答

ゴミ収集の問題点と改善策



無所属クラブ
星野 和彦

質問 以下の問題点と改善策を提案する。

①ゴミ収集日が減る連休中、生ゴミだけでも週2日続ける。

②地域外からのゴミ持ち込みに対し、ゴミ置き場の移動や監視ビデオ設置の補助。

③空き家へ休日帰省する人達へのフェイスタックによるゴミ分別方法の周知や有料ゴミ箱の設置。

④屋外にゴミ箱がない道の駅で生じる不法投棄に対し、有料ゴミ箱を設置する。

市民部長 ①収集日をずらすなど検討。②移動は自治会で判断できる。ビデオの補助は考えていない。③フェイスブックでの周知に取り組む。有料ゴミ置き場は慎重に検討。

戦争体験を未来に伝えること

質問 戦争体験者が高齢化する中、資料や体験を伝える以下の手段を提案する。

①官民連携の体制。②従軍や疎開を加えた戦争体験の収録。③宮津空襲の被災地

跡への看板設置。
教育次長 ①資料の保管が困難な場合、市に相談を。②民間主体の動きを支援したい。③他市も個人や有志が主体で取り組まれている。

一問一答

宮津バイオマス・エネルギー事業を問う



蒼風会
横川 秀哉

質問 市は過去に竹資源を活用したバイオマスメタノール製造と発電事業に取り組んでいたが、その経緯や当初計画はどのようなものであったか。

産業部長 放置竹林対策として竹資源を活用するバイオマス施設を整備しエネルギーの地産地消とカーブド利用により新たな産業を起すためのビジネスモデルの確立を目的に宮津バイオマス・エネルギー協議会を設立した。

質問 本事業に要した経費は。

産業部長 協議会の

事業も含めた総事業費は約6億1千万円でその内訳は約5億円が国府補助、市の一般財源は約1億1千万円である。

質問 財政的に厳しい中、市民の生活基盤の向上に関わる優先順位の高い事業の必要性を把握しているが、そのような余裕があったのか。この事業で得られた成果は。

また、この事業に限らず、全ての事業執行で最も大切である検証と市民の皆様への丁寧な説明が欠落している。誠実に正直に丁寧にこの責任を果たすべきだ。

産業部長 発電施設は運転できていないが、放置竹林の解消、雇用の創出、企業の誘致などの成果が得られた。



養老地区公民館

10/18~11/19 市民と議会の懇談会を開催

市民と議会の懇談会を市内12会場で開催しました。多くのみなさんにご参加いただきありがとうございました。事前に各地区自治連合会長さんなどと相談し、会場ごとにテーマを設定し、各地区の現状や課題の意見交換を行いました。

貴重なご意見を今後の市政運営に生かせるよう議会として取り組んでいきます。いただいた意見を一部ご紹介します。

農業に関すること

市民【吉津】 農業生産物の販売価格を高めて「もうかる農業」にしなければ、若い人に魅力を感じてもらえない。どうすればいいのか。

議会…耕作できない水田を、非農家の協力を得ながら管理しているところがある。地域での話し合いが第一である。

市民【吉津】 耕作放棄地をこれ以上増やさないためにどうすればいいのか。

議会…耕作できない水田を、非農家の協力を得ながら管理しているところがある。地域での話し合いが第一である。

市民【由良】 個人農業から集

団農業など、農業法人化や株式会社などのサラリー制度を導入している事例やサポートを調査してほしい。また、農業成功例を調べてほしい。

議会…調査研究する。

市民【由良】 みかんの購入希望はあるが、高齢化と人手不足で収穫できない。収穫をシルバー人材センターに依頼している農家がある。人材不足解消の参考にできないか。

議会…調査する。

医療に関すること

市民【日置】 日置診療所（週2回）は患者で満員だ。旧日置中学校に診療所を設置してどうか。

議会…医療設備や水回り問題などあり、診療所は設置しない方針だ。



日置地区公民館

災害に関すること

市民【城東会館】 危ないと言われても、なかなか避難しないことが全国状況を見て感じた。どうすればいいのか。

議会…効果的なのは、日頃からの呼びかけだ。隣近所の2階家の持ち主に避難先としてお願いすることも必要である。

市民【上宮津】 山の整備をしないとまた災害が起こる。山林の回復してほしい。

議会…森林経営管理法、森林環境税が令和6年から開始される。

市民【上宮津】 防災の観点から改良復旧が可能となるよう、他市町の議会と共同で決議を上げ、国に要望してほしい。

議会…議会で議論していく。

市民【浪花会館】 大雨で緊急放送が聞こえにくい。他の手段はないのか。

議会…どここの地区でも出る課題で、スピーカー式では限界がある。防災メールの活用などの対応をしている。

議会に対して

市民【日置】 議員は議会だけでなく、日ごろから地域の声をつかむ活動してほしい。

議会…真摯に受け止める。

市民【上宮津】 議会の政策提案を市民に報告してほしい。

議会…所管事務調査を3年前から始めている。わかりやすく報告する。

市民【府中】 市議が発言力をもって予算などを市民に報告してほしい。報告会の開催数を増やしてほしい。

議会…検討する。

市民【魚屋会館】 公設市場、労働会館、ホテルなど、周辺一帯の利活用について、議員の考えは。

議会…活用も含め議会としても言っているが、具体は提案していない。

市民【世屋】 財政再建で、唯一の働く場であるしおぎり荘を閉鎖、高齢者のおむつのゴミ袋などを削減した。住民の生活目線で議会として追及してほしい。

地域に関すること

市民【日ヶ谷】 役員のなり手もなく、自治会の存続が危ぶまれる。自治会の統合を考えているが進展しない。行政の都合で自治会を使わないでほしい。

議会…自治会も変わってきていることを認識した。自治会の組織運営の実態と求められる役割やあり方について考えていく。

市民【城東会館】 大手川・大膳川・神子川の浚渫工事が遅れている。進行状況を把握し、早期実施を行政に要請してほしい。

議会…しっかりと把握し、行政につないでいきたい。

生活に関すること

市民【養老】 地域住民の移動手段確保を養老地域会議で検討してきた。移送サービス事業を持続可能とするために経費面の援助が必要だ。

議会…議員間でも相談しながら、行政に伝えていく。

市民【栗田】 交通手段のない住民のために、買い物や通院

など多機能に使用できる市内移動バスがあれば便利だ。

議会…今後の有償運送の参考になる。

市民【府中】 空き家対策・移住定住対策を具体的にどう進めたらいいのか。

議会…空家空地条例を活用して地域振興を考えてはどうか。地域の魅力発信や自治会同士意見交換することも必要ではないか。

市民【世屋】 急傾斜地に指定された家の改築もできない。規制緩和も含めた働きかけをしてほしい。

議会…建築基準法などで規制されている。



世屋地区公民館

開催日	会場	テーマ	参加者数
10月18日(金)	(2班) 栗田地区公民館	生活環境	30人
10月21日(月)	(1班) 日ヶ谷地区公民館	高齢化に伴う諸課題	11人
	(2班) 由良地区公民館	高齢化する農業	16人
10月24日(木)	(1班) 城東会館	災害に強いまちづくり	13人
	(3班) 上宮津地区公民館	山林の維持管理と下流域の防災対策	19人
10月28日(月)	(1班) 吉津地区公民館	農業の将来	6人
	(2班) 浪花会館	如願寺川の溢水対策	14人
10月29日(火)	(2班) 日置地区公民館	高齢者福祉と地域医療、地域振興策	13人
11月11日(月)	(1班) 養老地区公民館	地域の活性化・高齢化等による地域住民の移動手段確保	19人
11月13日(水)	(3班) 府中地区公民館	空き家対策	12人
11月14日(木)	(3班) 魚屋会館	まちづくり	6人
11月19日(火)	(3班) 世屋地区公民館	定住の取り組み	13人
計	12会場		172人

班編成 (○班長) 1班 ○河原 末彦
松浦登美義
久保 浩
坂根 栄六

2班 ○向山 禎彦
星野 和彦
徳本 良孝
小濃 孝之
長本 義浩

3班 ○長林 三代
横川 秀哉
松本 隆
北仲 篤

(参考：前回参加者数
12会場229人)



先進地に学ぶ！

産業建設福祉委員会

11月6日～8日

滋賀県東近江市 「農産物の地産地消の取り組み」



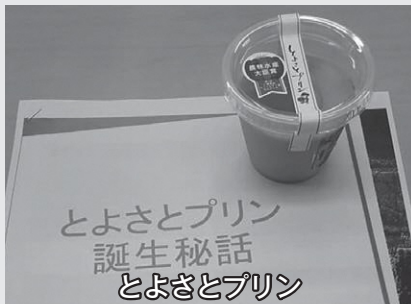
道の駅 あいとうマーガレット
ステーション

【目的】農産物の地産地消を展開する地域商社「東近江あぐりステーション」の取り組みを学び、本市の農業振興の参考とする。

【内容】市内のスーパーに他県産の野菜ばかり並んでいる状況を打開するため、東近江市などが出資して地域商社を設立。地元農家の農産物を買上げ、地域の小売店や加工業者に卸す取り組みを行い、農家の安定収入の確保、市民への新鮮な農産物の提供、若者の就農促進に繋げている。

【成果等】東近江市の農地面積などは、本市の数倍規模であり、同じ取り組みはできないが、地産地消を促進する観点から、学ぶべき点がある。

滋賀県犬上郡豊郷町 「6次産業化等による産業振興」



とよさとプリン
誕生秘話
とよさとプリン

【目的】とよさと特産物振興協議会の取り組みを学び、本市の6次産業化の参考とする。

【内容】国の補助金を活用し、滋賀県や豊郷町の商品開発などの支援を受けながら、特産物のとよ坊かぼちゃんの特長を活かしたプリンなどの商品を開発。農産物直売所やスーパーマーケットなどで販売している。プリンの出荷個数は年間1万5千個になっている。

【成果等】かぼちゃんが栽培できるほど乾燥した水田の存在とペースト化によって保存が可能、偶然が重なって新商品が誕生した。発想の転換も必要だと学んだ。

岐阜県海津市 「6次産業化等による産業振興」



有限会社とり沢

【目的】本市の6次産業が産業振興・活性化に大きくつながっているとはいえない状況から、先進事例を学び、本市の産業振興に活かす。

【内容】(有)レイク・ルイズは、野菜の乾燥粉末を用いた「ベーめん」(米粉麺)など新たな米の消費スタイルを開発し、農業経営の安定化や販路を海外にまで広げるなど、売上高を伸ばしている。

(有)とり沢は、「奥美濃古地鶏黒カレー」などを開発し、主に高速道路のサービスエリアなどで販売し、実績を上げている。

【成果等】6次産業化の成功事業所は、代表者のリーダーシップ、先見性と柔軟なアイデアの発揮によるところが大きい。

令和元年(平成31年) 行政視察受入一覧(14団体 96人)

視察日	視察団体(委員会・会派等)	人数	視察項目
1/23	佐賀県議会(自民党総務部会)	6	地域資源を活かした観光施策の取り組み
2/4	広島県廿日市市議会(成蹊21)	6	日本三景として連携した観光客誘致
2/7	宮崎県えびの市議会(新議会)	4	道の駅を拠点とした観光関連の取り組み
5/14	宮城県岩沼市議会(建設産経常任委員会)	7	Uターンサポートセンターのサポートの運営・空き家対策ほか
5/16	伊根町議会(総務常任委員会)	5	学校給食の運営(センター化)
5/21	熊本県嘉島町議会(総務常任委員会)	4	学校給食の運営(センター化)
7/4	三重県桑名市議会(都市経済常任委員会)	9	竹資源有効活用プロジェクト
7/9	静岡県牧之原市議会(総務建設常任委員会)	12	観光振興
10/24	香川県まんのう町議会(建設経済常任委員会)	10	竹資源有効活用プロジェクト
10/24	山形県南陽市議会(保守・公明クラブ)	4	観光革命の推進
11/1	茨城県鹿嶋市議会(都市経済常任委員会)	9	観光まちづくり推進事業
11/13	千葉県鎌ヶ谷市議会(立憲民主党、草の根がまがや)	3	地域子育て支援事業
11/18	山口県柳井市議会(新政クラブ、市政クラブ、やない自民クラブ、公明党)	7	観光革命の推進
11/25	与謝野町議会(総務文教厚生常任委員会)	10	民間委託によるセンター方式給食

常任委員会視察報告

10月30日～11月1日

総務文教委員会



富山県氷見市 「公共施設マネジメント」



氷見市役所新庁舎

【目的】財政健全化に取り組む中、既存施設を活用した施設整備の事例を調査・研究する。

【内容】築後約50年の庁舎老朽化とH23年の東日本大震災を契機とし、防災本部の役割が求められ、耐震性を充たす庁舎建て替えが急務となった。旧有磯高校体育館と校舎を活用し、新築より、工事費約6割軽減、駐車場不足(70台→400台)も解消した。病院など近隣公共施設へのアクセスも良く、住民の利便性が上がった。

【成果等】既存建物を庁舎に利活用し財政健全化に寄与すると共に、計画時点から住民と行政の協働が功を奏しており、参考とすべきである。

富山県魚津市 「公共施設再編方針」



魚津市立よつば小学校

【目的】公共施設再編の必要性、効果的な進め方を調査・研究し、本市の取り組みに活かす。

【内容】小学校の再編は進行中だが、今年度、H26年度に策定した公共施設再編方針の見直しを行っている。市内有識者で構成する行政改革推進委員会や20代～40代の若者で構成する魚津2040会議から出された意見を基に案を作成。市民や議会に説明し、意見聴取するとともに、市長のタウンミーティングなどを実施中。見直し後の再編方針に基づき、来年度、個別施設計画を策定される予定である。

【成果等】若年層の意見を取り入れることは有意義で、また、担当課任せにせず、庁内横断的な組織で推進されている点は、参考とすべきである。

石川県かほく市 「定住促進の取り組み」



【目的】移住・定住者の増加策を調査・研究し、本市の取り組みに活かす。

【内容】近隣市への人口流出が止まらない中、若手職員による定住促進の企画立案がなされ、H22年度「若者マイホーム取得奨励金」制度を創設。H27年には、県外に3年以上居住した者がUターンした場合50万円の加算、中古住宅も助成対象とするなど制度を拡充し、最大200万円の奨励金を交付。現在、人口増加に転じている。

【成果等】本市でも、移住者・定住者増加策の拡充と同時に転出を防ぐ全庁的、総合的な施策が求められる。



先進地の事例報告

「6次産業化等による産業振興について」

産業建設福祉委員会

「財政再建と公共施設マネジメントについて」

総務文教委員会

所管事務調査テーマ

交換を行いました。

先進地の事例を報告した後、委員会等で設定した所管事務調査のテーマで、市の担当職員と意見交換を行いました。

視察報告会を
開催しました

1月14日(火)、福祉・教育総合プラザの第1コミュニティルームで、市の理事者や職員を交え、視察報告会を開催しました。各常任委員会が視察を行った先進地の事例を報告した後、委員会等で設定した所管事務調査のテーマで、市の担当職員と意見交換を行いました。

議員が
おじゃま
しました！

ジビエは山々の力から 上世屋

1次処理室



施設の特徴は、小さいことです。維持コストを抑え、良いものを集められるようです。野山を駆けるジビエは年齢、性別、食べているものもバラバラ。その肉も当然、個体差があり、それを生かした解体ができるとのこと。施設は、三室構造になっており、半屋外の0次処理室は、高圧洗浄で泥などの処理。一次処理室は、包丁を熱湯消毒しながら内臓などの処理。二次室では脱骨、精肉する部屋。肉は枝肉にして冷蔵、約一週間つりさげ、骨をていねいにはずし食肉にされるそうです。内臓などは、ペットフード用として出荷されています。



上世屋地域

令和元年12月17日、みやづ環ネットワーク主催のジビエ加工施設見学会へおじゃましました。
小山愛生さん(38歳)は、上世屋に魅了され、地域の協力も受けて上世屋獣肉店を開設されました。上世屋は、丹後半島の中央部、標高350〜400メートルの山村。「にほんの里百選」に選ばれ、昔ながらの暮らしが色濃い地域。住民は11世帯22名、高齢化の中、若い移住者が半分をしめ、子供たちも増えているとのこと。

冬場は、2メートルの積雪にもなる豪雪地。ブナ林をはじめとする豊かな山々の力によって、丸々としたイノシシやシカが育まれているそうです。ジビエを美味しく召し上がっていただくことで、山の価値を高めたいとおっしゃられます。とにかく、おいしいお肉を食べてもらうことと強調されています。地域の狩猟は、檻が多く、雪が降ると忍び猟。小山さんを魅了した「バイ投げ」猟をする人は、今はおられないようです。ジビエには、罠か檻での捕獲を使っていると言われていました。春から秋は棚田で米作りをしています。



世屋高原休憩所での説明

そして、小山さんが大事にしていることは、料理人とのコミュニケーション。お肉の個性を伝え調理してもらうこと。特に、肉の部位の違いが大きく、お肉によって調理方法のすすめをされているようです。販売先は、都会での購入者が多く地元も少しずつ増えているそうです。
今回、おじゃまして、本市も、自然の恵みのジビエの活用を広げ特産品に育てていきたいと改めて思い帰ってきました。

(記 松浦登美義)

製品化されたしか・いのししの肉



2次処理室

「ジビエ」とは
狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉。
(フランス語)

「バイ投げ」とは
雪の穴近くにいるうさぎを探し、木を輪っかにして投げつける。うさぎは、鳥の羽音に感じて、雪穴に飛び込む。その穴から手づかみでうさぎを捕らえる手法。



処理施設

「ジビエのおいしさを左右するのは、第一に、どんな山でとれたか、山によって違う、丹後の山は荒れていない、上世屋は、植林も少なく広葉樹林が比較的多く、雪が積もるとシカは痩せますが、山の下層植生は食害から守られる。どんぐりが豊富な年は、野山の獣も脂がのっており、ジビエは山の力そのもののようです。次に、どんな処理をしたかが大事になるようです。適切な処理をすれば臭みもなく美味しいお肉になるそうです。会場で、しゃぶしゃぶを頂き、とても美味しかったです。

ひとこと

「第26回卓球バレー大会・福祉体験」

宮津市身体障害者団体連合会

会長 木崎 重弘さん

本会では、毎年12月3日～9日までの障害者週間に啓発活動の一環として卓球バレー大会・福祉体験を行っています。

今回も、12月1日(日)に行い、小中学生・市議会議員・保健所職員・民生児童委員など19チームが参加し、老若男女、障害者も健常者も同じルールで戦い交流と親睦を深め



福祉体験 (高齢者疑似体験)

3月定例会 会議日程 ・ 請願書の締切 2/18(火) 正午

日	月	火	水	木	金	土
2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29
		本会議 (開会・提案説明)				
3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7
		本会議 (一般質問)		本会議 (質疑～委員会付託)	常任委員会 予算決算委員会分科会	
3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14
		予算決算委員会分科会		(予備日)	予算決算委員会 (補正予算)	
3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21
			本会議(補正予算等) (委員長報告～採決)			
3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28
	予算決算委員会 (当初予算)				本会議(当初予算等) (委員長報告～採決)	

※開議時刻10:00 (3/13、3/23は13:30～) ・ この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。

編集後記

令和2年も2月となりました。大河ドラマ「麒麟がくる」の放送はすでに始まりました。7月には東京オリンピックが始まります。

東京を中心に、京都はもちろん、宮津市にもたくさんのお客さんが訪れることと思います。そこには人と人の触れ合いが生まれます。知らない人同士がお互いの人格を尊重し一期一会の出会いを大切に



丹波篠山市の視察にて

【議会情報化委員会】
委員長 星野 和彦
副委員長 松浦 登美義
委員 向山 禎彦
委員 長林 禎彦
委員 河原 三代末彦